

逗子の景観まちづくり

瓦版 第四十号

平成二十七年六月十五日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「逗子は私の故郷」

一九七一年、海外駐在を終えて逗子に帰ってきた。学生時代からのヨット仲間が待ち構



「大崎公園から江の島、富士山を望む」 絵 永橋 為成

えていて、帰国翌日にはもう海に出た。その日は江の島まで、次の日は佐島へと、俄かに青春を取り戻した。山と海に囲まれ、自然に恵まれた逗子は、「故郷」として申し分なく、それだけに私の自慢でもある。

母と知り合う前の二〇代の頃、父は病氣療養のため逗子に長期逗留したことがあった。気候温暖で風光明媚なこの地が痛く気に入る、「いつか逗子に住もう！」と決めた。お陰で病状は回復し、その後は大病を患うことはなかった。サラリーマン生活を終えると、念願の逗子に引っ越してきたのだった。

私は現在、仕事の関係で関西に住んでいる。

逗子の家に今は誰も住んでいないので、私が月に一、二度の頻度でやって来る。その時に必ず訪れるのが、披露山公園だ。ここに立って見る

光景こそ、私が海外駐在中もずっと大切にしてきた「故郷遺産」である。関西から来ると、富士山の見える地がなんとも羨ましい。この光景の醍醐味を独り占めにしておくのはもったいないと、友人を案内したこともあった。実は、逗子の花火を毎年ここで満喫している。

逗子の商店街には、私なりの愛着がある。銀座通り、なぎさ通り、池田通りとまるで三角定



「大崎公園から見た景色」 絵 馬目 碧 (小学4年生)

規の三辺を回るように、ショッピングをしたり食事をしたりする。それで、恰かもずっと逗子で暮らしているような気分にもなる。

文 安藤 知明

市役所2階まちづくり課、市民交流センターで
閲覧・配付しています。ぜひお手に取りください。



逗子の景観を考える

平成 27 年度都市景観大賞 優秀賞を受賞しました！

企画・制作

ほととぎす隊景観部会+まちづくり課

「まちなみデザイン逗子」の取組みが、平成 27 年度都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」優秀賞を受賞しました。神奈川県内では初受賞の快挙です。(主催：「都市景観の日」実行委員会、後援：国土交通省)

審査講評では、「地域住民の話し合いのエッセンスを共有すべく街並みに対する価値観として冊子をまとめ、価値観の共有はさらなる「学びの素材」となっており、とても意義のある実践といえる。」「瓦版やフェイスブックによる日常的な情報発信も活発に行われていること、多世代の交流による景観の啓発活動には他地域への景観教育・普及啓発への多くの示唆を与えている」…と瓦版の活動も高く評価されました！

「まちなみデザイン逗子」は、市民グループが主体となり、逗子の美しい景観を保全し、また新たにつくり育てていくためにはどうしたらいいか、景観を考える本として平成 26 年 3 月に発行しました。その出来上がりまでに、平成 20 年から足掛け 6 年、90 回以上の会合のほか、市内や他市のまち歩きや、地域ワークショップを通し、逗子らしいまちなみのあり方を研究してきました。

逗子の魅力は、山や海などの自然だけでなく、その自然に寄り添いながら形成される個々の住宅や路地などによってつくられています。逗子で生活される一人一人が景観づくりに参加しているという意識を共有するためには、景観について考えてもらうことも大切ですが、まずは逗子という土地柄を知り、その暮らしを楽しんでもらうことから始まるのではないかと思います。まち歩きを開催すると、「この場所を歩くことは初めて」、「引っ越してきてからこれまで逗子の良さが分からなかったが、ステキな所を発見できた」といった感想をたくさんいただきます。この冊子は、逗子の好きな所を見つけるきっかけづくりになるとともに、景観づくりを実践したくなるエッセンスが詰め込まれています。ぜひご一読ください。

私の逗子の歩き方 ～外構～



逗子湾付近は保養別荘地として栄え、今でも石積みや竹垣にその面影が見られます。いつもの散歩に外構観察をプラスしてみませんか。



ぼさ垣※は、海風で運ばれる砂を通さず、逗子の気候条件に適した外構づくり

※小枝の竹垣を束ねたぼさとして垣



石材×白い漆喰の壁
×瓦で格調高く。

石積み×四つ目垣
(田の字に組む)×生け垣で緑豊かに。視線や西日も遮ります



自然素材の竹垣で庭木の変化がよく映えます



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

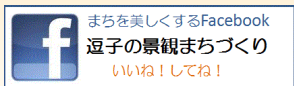
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する
逗子の景観コラム、
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観のまちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。